



## 沖縄県成果連動型事業推進 プラットフォーム(第4回)を開催

令和3年2月25日、第4回「沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム」をオンライン会議により実施しました。

同プラットフォームは、成果連動型民間委託契約方式(PFS: Pay For Success)の普及推進を行うため、県内の地方公共団体を対象に平成31年2月から経済産業部と共催により開催しています。

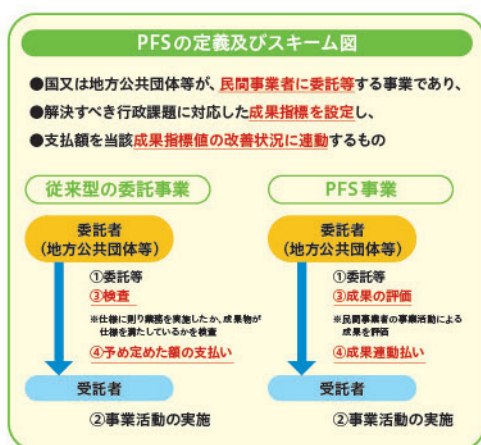
会議には、地方公共団体の企画財政担当者や各事業担当者(県6市6町村37名)のほか、北部広域市町村圏事務組合や沖縄振興開発金融公庫など、多くの方々に参加いただきました。

当日は、内閣府成果連動型事業推進室から「PFS推進にかかる国の動き」として、PFS事業に関する国の支援制度などの説明をいただいたほか、県内で初めてPFS事業に取り組んだ浦添市からは、大腸がん検診や特定健診の受診率向上に係るPFS事業の取組のご紹介がありました。また、ケイスリー(株)の幸地代表から「PFSの最新の動向や事例等」について紹介をしていただきました。参加者からは、国のPFS事業に対する補助・交付金などの支援措置に関することや、事業導入にあたっての課題の解決方法や、最新の

事例の内容に対する質問などがなされ、PFS事業に対する関心の高さが伺われました。

会議後、参加者からは、「成果目標の設定や予算の組み方について検討が必要」といった意見のほか、「様々な事業との結びつきが可能なので団体のなかでも広く周知できれば効果的ではないか」などの意見が聞かれました。

沖縄総合事務局では、引き続きPFS事業推進のための取組を実施していきます。



出典：内閣府成果連動型事業推進室

お問合せ先  
財務部 理財課

098-866-0092



## 高校生が将来のために 「金融」について考える

金融サービス利用者の安定的な資産形成推進のためには、各個人の金融リテラシー向上を図っていく必要があります。金融庁が8月に公表した「金融行政のこれまでの実践と今後の方針」においては、学校教育と連携した学生の金融リテラシー向上を重点分野の一つとして積極的に推進していくとしております。

当該方針に基づき、財務部金融監督課は、1月、沖縄県立中部商業高等学校の3年生6クラスを対象に、「新生活のスタートに向けて」と題して、社会へ出た後に必要となる基本的な金融知識について講座を開催しました。

講座では、人生の主なライフイベントごとに必要となるお金やクレジットカードの仕組みのほ

か、高金利の貸付商品、多重債務問題、最近問題の多い仮想通貨関連の詐欺問題について講義をしました。また、令和4年4月から成人年齢が18歳に



金融知識の説明



金融トラブルの説明

引き下げられることによる契約についての注意点などを説明しました。

生徒達からは「将来のためにお金を大切にすることがある」、「無計画に買い物をすると後が大変になり気を付けたい」などの感想がありました。また講義の中で、100万円を15%の金利で借りて、5か年借りたままにすると返済総額が201万円になるという話をした際は、生徒たちも驚いた反応をしていました。

当部は、今後も、若年層の金融リテラシー向上のため、積極的に講師を派遣します。また、財政・経済・国有財産に際しても要望に応じて皆様にお役立ていただける情報をお届けいたします。左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先  
財務部 金融監督課

098-866-0095